



延島っ子

発行者 延島小学校長 田村芳広

電話 49-0004 FAX 49-2761

延島っ子 田んぼの学校 開校式

5月10日(土)五月晴れのもと、今年も「田んぼの学校」がスタートしました。開校式では、御来賓として 小山市長 大久保寿夫様、小山市教育委員会教育長様、絹公民館長様においでいただきました。また、実行委員会会長様を始め実行委員の皆様、そして、のぶしま幼稚園と延島小学校の保護者・御家族の皆様等、たくさんの皆様の御出席をいただきました。小学校児童60名、幼稚園児12名を代表した2名の「延島っ子 田んぼの学校」によせる言葉は、はきはきとして青空に響いていました。とてもすばらしい代表の言葉でした。

田んぼでは、朝早くから田んぼ所有者の〇〇〇〇様、実行委員の皆様方が準備をしてくださいました。代掻きした後の細かいところを平らにして水を均等にしたり、東と西の区分けをしてくださったりしました。

開校式後、子どもたちが田んぼに行き、実行委員の方が田植えの説明をしてくださいました。始めに、市長様、教育長様、公民館長様が代表で田植えをし、いよいよ子どもたちの番です。高学年の児童は幼稚園児や低学年児童の手をとり、一步一步ゆっくり田んぼを歩いて所定の位置まで行きます。あちこちで、水の感触、土の感触、足が埋まって抜けないことなどから、声が上がりました。はじめは田んぼの泥を気にしていた子がいました。しかし、だんだんと服が汚れ、幼稚園児の中には座ってしまう子もいて、終了間際には誰もが全く気にせず、楽しく田植えを体験することができました。

実行委員会の皆様その他、本部役員や学年委員さん、当日応援してくれた保護者の皆様、ありがとうございました。おかげさまで子どもたちは全員、田んぼの泥の心地よい感触を味わい、田植えを楽しむことができました。

当日は、小山テレビの取材がありました。放送日は右記の日程となります。これからも、元気で明るい延島っ子の活躍を地域の皆様に、どんどん見ていただきたいと思っております。御協力よろしくお願ひします。



小山TV「ふれあいネット」

5月26日(月)～6月1日(日)毎日

①6:00～6:45 ②12:00～12:45

③17:00～17:45 ④22:00～22:45

以下、開校式で話したことです。

一つ 学んでください。

いつも食べているお米が どのように育つのか

二つめ 心で感じてください。

多くの方にお世話になって このような体験ができるということ

それから 幼稚園のお友達を思いやること

最後に 三つ目 楽しんでください。

泥の中に入って作業することは 普段はなかなか体験できないこと

光 風 水 土 を全身で感じて 楽しんでください。

はみんぐばーど ハンドベルアンサンブル



5月10日（土）の午後に「音楽鑑賞会」が行われました。ハンドベルチームの12名の方をお呼びし、1時間の演奏を聴きました。結成して19年目で下野市を中心に活動しており、以前はヨーロッパ等海外にも演奏にいったことがあるチームだそうです。

音楽は心を元気にしてくれたり、やさしくしてくれたり等、心を育てて（あいさつで話した内容）くれます。子どもたちはどうかなと見ていたら、1曲目のスタート、最初のハンドベルの音が鳴った瞬間、子どもたちの動きがぴたりと止まりました。体育館に、澄んだハンドベルの音だけが静かに流れていました。鑑賞しているすべての人の身体にしみとおるような音で、あっという間に1曲目が終わり、大きな拍手が自然とおこりました。

「すっげー」という言葉も子どもたちから出ました。午前中の田植えでお手伝いいただいた実行委員の自治会長の方にもぜひおいでくださいとお誘いしたところ、来ていただき、ハンドベルのきれいな音の響きに大変感動されていました。また、普通に振って鳴らすだけではなく、テーブルの上にマットを敷き、そこにぶつけて音を出すこともしていました。ポコポコという音でとても楽しくおもしろい音でした。木琴のばちのようなものでマットの上に置いたハンドベルとたたくということもしていて、いろいろな奏法があるのだなと知りました。『ふるさと』では、演奏に合わせて子どもたちが歌を歌いましたが、いつもの練習していた声よりも、ハンドベルの澄んだ音につられて、きれいな声を出そうという意識が感じられました。やはり、音楽を聴くことは心を育てるのに多くの影響があるのだなと思いました。

ピアノの連弾、歌もあり、1時間飽きずに、子どもたちは音楽を鑑賞することができました。普段ではなかなかこういう機会は得られないと思います。子どもたちの情操教育としても、よい芸術（音楽等）にできるだけ触れさせ、心（感情）を育めればと思っています。

